

論文審査の結果の要旨

ポリファーマシーと薬物関連問題に対する薬剤師介入の効果評価

Assessment of Pharmacist Intervention Effects for Polypharmacy and Drug-related Problems

論文提出者 大木稔也 (Oki, Toshiya)

我が国の医療、病院薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しており、高齢者に対する薬物療法の適正化は大きな課題となっている。特に、複数の併存疾患を有する高齢者に対する薬物治療では多剤併用される傾向にあり、多剤併用の中でも害をなすものを指す「ポリファーマシー」が問題視されている。また、医療の高度化や多様化により、個々の患者に最適な薬物療法を提供することが可能となる一方、薬物関連問題の増加を惹起している。このような背景から、薬剤師はチーム医療に主体的に参画し、ポリファーマシーの改善や薬物関連問題の解消に寄与し、患者個々の薬物療法を有効かつ安全に提供することが社会的にも求められている。

申請者の勤務する医療機関（二次救急医療機関、273床）では、全病棟に病棟薬剤師が常駐しており、すべての入院患者を対象として、入院時から退院時にわたり持参薬を含めた投薬歴の管理、服薬指導、検査データ・バイタルサイン等の確認を含む薬物治療モニタリング、医師による回診への同行、薬剤師単独での回診などを実施し、必要時には処方内容や血液検査

の実施等の提案を行っている。また、これらの内容は薬剤師自身が記録しており、そのデータを用いて薬剤師による介入効果を定量的、定性的に評価した。

研究 1 では、ポリファーマシーに対する薬剤師介入を評価した。当該医療機関において、2016 年 4 月から 2017 年 3 月の間に薬剤総合評価調整加算を請求した患者をポリファーマシー改善者と定義し、更に、ポリファーマシー改善者が退院後 3 カ月以内に同医療機関へ外来受診した際の処方箋を調査し、再処方の状況から入院中のポリファーマシー管理を省みた。薬剤は薬効分類表を用いて分類し、薬剤中止理由は先行研究を参考に分類した。その結果、入院中に中止された持参薬の約 81%は再処方されず、薬剤師によるポリファーマシー管理は退院後を含めて有効であることを明らかにした。一方、再処方された薬剤も一部あり、中止する際には処方目的を考慮した他剤への変更を検討すること、生活習慣が影響する疾患の治療薬では、入念な退院時指導が必要であることなど、ポリファーマシー対策の改善点を示した。

研究 2 では、薬物関連問題に対する薬剤師介入を評価した。2018 年 1 月から 6 月の間に当該医療機関を退院した患者を対象として、入院中に薬剤師が特定した薬物関連問題及びそれに対して介入した内容を調査した。2 名の薬剤師が独立して介入内容をレビューし、薬物療法に与える影響の重要度を尺度を用いて評価した。その結果、1711 名（平均 71.2 歳、男性 54.1%）の患者において、2149 件（1.26 件/患者）の薬物関連問題が特定された。最も多く問題が特定されたのは全身用抗感染薬（539 件）で、その 30.8%は「投与量が多い」という問題であった。次いで消化管用薬と代謝性医薬品（428 件）、循環器器官用剤（271 件）で、それらの 27.3%、28.0%は「必要な薬剤が処方されていない」という問題であった。また、薬剤師は全ての問題に対

して、医師に解消に向けての提案をしており、そのうち 1778 件（82.7%）が受諾された。更に、薬剤師による介入内容の 99.6%は「薬物療法をより適切にする可能性のある提案」と評価され、薬剤師による問題解消にむけての介入は薬物療法の適正化に有用であることを示した。

本研究は、薬剤師によるポリファーマシー管理が退院後を含めて有効であることを初めて明らかにし、薬剤師が過剰・長期服用による有害事象の回避やアドヒアランスの改善などの患者利益、医療費の削減に貢献できることが示唆された。また、薬剤師による薬物関連問題への介入は薬物療法をより適切にすることをわが国で初めて尺度を用いた評価により明らかにしたことにより、薬剤師は薬物療法の有効性・安全性を向上させ、医療の質の向上に貢献していることが強く示唆された。本研究で用いた薬剤師が記録したデータを用いて介入効果を定量的・定性的に評価する手法は非常に有用であり、今後も薬剤師業務の客観的評価に活用されることが期待される。以上、審査会における発表と質疑応答、その後の最終論文作成を通じて、本論文が博士（薬学）の学位に相当するものであると認める。

令和 4 年 3 月 2 日

主査 明治薬科大学 教授

大野 恵子 印

副査 明治薬科大学 教授

三田 充男 印

副査 明治薬科大学 准教授

野澤 玲子 印

